

伊達市都市計画審議会会議録

会議名称	平成28年度第2回伊達市都市計画審議会		
議 題	議事第1号 室蘭圏都市計画火葬場の決定について		
会議日時	平成29年1月30日(月) 19:00～21:00		
開催場所	本庁舎3階 第2・第3会議室		
出席委員等	出席者12名(欠席者0名)		
	所属部課名	建設部 都市住宅課	
公開・非公開の別	公 開	傍 聴 者	0名(うち報道機関0名)
<p>【会議の概要】</p> <p>会議次第により会議が進められ、会議の内容は次のとおり。</p> <p>1. 開会 2. 議事 3. 閉会</p> <p>■議事第1号 室蘭圏都市計画火葬場の決定について</p> <p>≪質疑応答≫</p> <p>○委 員：費用負担についてはどのようになっていますか。</p> <p>●事務局：火葬炉や建物の建設費用として7億500万円、設計・外構工事・備品購入等で2億4,500万円とし、合計9億5,000万円を予定しています。 管理費用については年間2,300万円を見込んでいます。 1件37,000円～38,000円程度の火葬場使用料で年間約600件の火葬を想定しており、その収入を財源としますが、その他の各市町の負担のあり方については、今後、一部事務組合を通じて協議していくこととなります。</p> <p>○委 員：国有地の払い下げの話がありましたが、昭和33年当時から現在に至るまでどのような整理がなされていたのでしょうか。</p> <p>●事務局：昭和33年当時の処理については現時点では不明ですが、平成15年に道路として国から払い下げを受け現在に至っています。</p> <p>○委 員：住民への縦覧の時点で、建物の概要は明確になっているのでしょうか。</p> <p>●事務局：平成29年6月に一部事務組合が設立され、その後設計していくことになるので、縦覧のタイミングでは未だ建物の概要は明確になっておりません。 当該都市計画決定については、火葬場整備に必要な区域の決定を行っていたこととなります。</p> <p>○委 員：一部事務組合設立後の建物の基本的なプランがみえてくるスケジュールとその時点での縦覧のようなものは予定しているのでしょうか。</p> <p>●事務局：プランやそのスケジュールについては、基本計画が策定されてからとなります。</p> <p>○委 員：運用までの行程を急いでいるように感じますが、何か理由があるのでしょうか。</p>			

- 事務局：整備費の財源が大きく関わってきますが、今回の火葬場整備にあたっては、合併特例債というものを使うことを考えています。これは合併から15年以内に使えるもので、伊達市の場合は平成32年度が期限となります。
火葬場整備の最終年度が平成32年度までとなるため、スケジュールが厳しいものになっております。
- 委員：他町の財政負担はどうなっていますか。
- 事務局：建設費用については伊達市が全額負担しますが、今回、広域で整備することで北海道地域づくり総合交付金というものが利用でき、上限額も伊達市単独で整備するより増額となります。
- 委員：炉の数が3基となっていますが、この数は適正でしょうか。
- 事務局：1市3町の人口動態から火葬件数を推計した結果、3基で十分だという結論に至りました。
- 委員：報道だけをみると、伊達市のみが費用負担するように誤解してしまうが。
- 事務局：実際には、先ほど申し上げた北海道地域づくり総合交付金の増額分をもって各町に財政負担していただいております。
- 委員：今までの火葬場はどのような扱いだったのでしょうか。
- 事務局：都市施設として都市計画決定を行う火葬場は、建物の面積が750㎡を超えるものとなりますが、現在の火葬場は512㎡のため、都市計画決定をしておりませんでした。今回、新たに整備する火葬場は1,200㎡を予定しているため都市計画決定を行うものです。
- 委員：今までの利用者等のデータは整理されているのでしょうか。
- 事務局：複数年分のデータがあり、今後の予測も可能となっております。
- 委員：今の火葬場は、札幌などの施設と比較すると寂しい雰囲気だと思う。伊達も是非、そのような視点をもって整備してほしい。
- 委員：一部事務組合も自治体という位置付けで間違いないでしょうか。
- 事務局：そのとおりです。
- 委員：火葬場が使えなくなる空白期間などはないのでしょうか。
- 事務局：空白期間は発生しません。
- 委員：施設は何年くらい利用する予定でしょうか。
- 事務局：炉のメーカーによると、炉自体は60年は使えるとのことですが、ただし、その前に建物が傷むことは十分に予測できますので、人口動態の予測を活用しながら、必要に応じて修繕等を行う予定です。
- 委員：災害の予測についてですが、建設予定地は長流川の氾濫や東側のがけ崩れの影響も心配されますがどのように考えているのでしょうか。
- 事務局：現在の場所が、住民に広く認知され、他に適当な場所がないことからこの場所に整備する計画としました。
- 委員：市民の意見を反映させるための検討委員会等の設置は予定しているのでしょうか。

●事務局：現時点では設置できるかどうか決まっておらず、今後一部事務組合で検討していくことになると思います。

□結果：今回は予備審議のため、次回以降、当該議事案件について開催させる本都市計画審議会において、引き続き審議を行うこととする。

■ 閉会